

松江市 報道提供資料

令和4年9月14日

件名

松江市内における食中毒の発生について

内容

9月14日、松江市内の病院から松江保健所に、「下痢症状を呈した患者1名が受診され、イヌサフランを喫食したとのことから、食中毒と判断した」旨の連絡がありました。

同保健所は、診察した医師から食中毒患者の発生届が提出されたこと、患者の症状及び聞き取り状況から、原因食品をイヌサフランとする食中毒と判断しました。

なお、患者は経過観察のため入院中です。

※詳細は、別添資料のとおりです。

【問い合わせ】

健康福祉部 保健衛生課 担当：三島、浅野 電話：0852-61-2001

対応時間：9月14日 20:00（終了予定）

令和4年9月14日
松江市保健衛生課
TEL:0852-61-2001
担当：三島・浅野

イヌサフランによる食中毒の発生について

1 概要

9月14日、松江市内の病院から松江保健所に、「下痢症状を呈した患者1名が受診され、イヌサフランを喫食したとのことから、食中毒と判断した」旨の連絡がありました。

同保健所は、診察した医師から食中毒患者の発生届が提出されたこと、患者の症状及び聞き取り状況から、原因食品をイヌサフランとする食中毒と判断しました。

なお、患者は経過観察のため入院中です。

2 患者 1名

鳥取県在住 60歳代 女性

主な症状：下痢、腹痛

3 原因食品

イヌサフラン（推定）

4 松江市民の皆様へ

イヌサフラン（別名：コルチカム）は多年生の球根植物で、園芸植物として広く植えられています。

球根は、ニンニクやタマネギ、ジャガイモと誤食されることが多いため、子どもや認知障がいのある人の手の届く所や台所には置かないなどの注意が必要です。

また、葉は、春にギョウジャニンニクや、ギボウシなどと誤って食べ、食中毒になることがあります。

【イヌサフラン（別名：コルチカム）】

分類：ユリ目 ユリ科 イヌサフラン属

球根：径3～5cmの卵形

症状：嘔吐、下痢

重症の場合は死亡することもある

有毒性分：アルカロイドのコルヒチン



【市内の食中毒発生状況】

	発生件数	患者数
令和3年（1～12月）	1	1
令和4年（本件を含む）	3	3